

10 研究指導プロセス概要

機械システム工学専攻／電気電子工学専攻／情報工学専攻【修士課程】

時期	項目	内容・目的等	
入学前 (入学試験時)	指導教員決定	<ul style="list-style-type: none"> ●提出された既研究概要と研究計画書の確認 ●口頭試問時に、研究計画を確認 ●合否判定予備会議において、研究計画と指導教員専門とのマッチングを確認 ●研究科委員会にて入学合否と指導教員を決定 	
1 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> ●大学院での研究・履修・生活についての説明 ●指導教員の発表 ●履修指導（履修登録には指導教員の承認が必要） ●院生スペースの割り付け ●大学院研究成果発表助成制度の説明 	
		「院生中間発表会」参加	●中間発表会に参加・聴講する
		修士研究テーマ決定	●入学試験時に提出された研究計画を基本に、修士研究テーマを決定、指導教員に報告
	(1～2年次) 指導教員の「研究指導」科目を履修		<ul style="list-style-type: none"> ●修士課程2年間にわたり、指導教員の「研究指導科目」を履修し、研究室に所属・研究計画の作成と提出、プレゼン ・教員指導の下、研究活動進行 ・修士論文の執筆方法、プレゼン方法等の確認 ・学会、展示会等での対外的成果発表の奨励 ・所属研究室学部生の研究指導補助 ※指導教員による研究指導は、学生の状況により、研究指導科目以外の時間でも随時行われる
2 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス	●1年次と同様、変更点を中心に説明
		院生中間発表会	<ul style="list-style-type: none"> ●発表タイトルの登録 ●発表及び質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：研究科教員・修士課程学生・博士後期課程学生（学部学生も聴講可） ・評価者：研究科教員（指導教員含む） ・発表：口頭又はポスター発表（発表者数によって変更、事前にアナウンス） ・質疑応答：教員及び参加者とディスカッション ●修士論文の提出資格 <ul style="list-style-type: none"> ・教員間で協議し、プレゼンテーション及び質疑応答において一定水準（学会での国内口頭発表に近いレベル）に達していると判断された学生は修士論文の提出資格を得る
	11月～ 12月上旬	学位審査委員 (修士論文審査員)の選出	<ul style="list-style-type: none"> ●主査：指導教員、副査：2人以上（研究科教員）を選出 ●修士論文タイトルの最終決定
	1月上旬	修士論文提出	●定められた期間内に、修士論文及び学位授与申請書類を大学院事務課に提出
	1月中旬	修士論文受理審査及び 学位審査委員会組織の決定	<ul style="list-style-type: none"> ●工学研究科委員会にて、修士論文の受理を審議・決定 ●学位審査委員会組織の決定 (主査：指導教員、副査：2人以上（研究科教員2名を必ず含む）)
	1月～ 2月上旬	修士論文査読期間	<ul style="list-style-type: none"> ●学位審査委員による修士論文査読 <ul style="list-style-type: none"> ・随時、査読結果に基づく実験追加、論文修正 ・随時、主査・副査との個別ディスカッション
	2月中旬	最終審査会	<ul style="list-style-type: none"> ●修士論文審査及び最終試験ならびに学力確認の実施 ・発表：論文内容についてプレゼンテーション（20分程度）と質疑応答（10分程度） ・評価者：研究科教員（主査、副査含む） ・審査項目： <ol style="list-style-type: none"> ①研究成果の妥当性 研究成果は、新規性、有用性及び信頼性のいずれにも優れているか ②情報収集能力 十分な文献や研究動向の調査を行い、先行研究に対する自分の研究の位置づけ及び意義を明確にできたか ③研究遂行能力 理論の構築、実験・シミュレーションによる実証・評価、システムの実現及び評価、作品の制作等が十分にできたか ④情報発信能力 研究内容をわかりやすくプレゼンテーションでき、質問に的確に答えられたか ⑤論文作成能力 論文の体裁（表紙、要旨、目次、章立て、本文、結論、参考文献等）が整っているか
		合否決定	<ul style="list-style-type: none"> ●学位審査委員会に加えて最終試験に出席した研究科教員により審査を行い、協議により合否判定 ●学位審査委員会が審査結果報告書を作成し、工学研究科委員会に提出 ●工学研究科委員会が報告に基づき審議、合否決定

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある